

# 東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	第74回東邦医学会総会 パネルディスカッション:The Work Shift 働き方改革やCOVID 19感染症における各診療科の現状と取り組み 座長のこ とば
別タイトル	74th Annual Meeting of the Medical Society of Toho University Panel Discussion: Current status and efforts of each clinical department in work style reform and COVID 19 infectious diseases
作成者(著者)	藤井, 毅郎
公開者	東邦大学医学会
発行日	2021.09.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 68(3). p.104 104.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	総説
著者版フラグ	publisher
JaLCDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2021 003
メタデータのURL	<a href="https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD17892855">https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD17892855</a>

座長のことば

## The Work Shift

### —働き方改革や COVID-19 感染症における 各診療科の現状と取り組み—

藤井 毅郎

東邦大学医学部外科学講座心臓血管外科学分野

今日の医療情勢は、働き方改革への対応が求められる中、追い打ちをかけるように新型コロナ感染拡大により多大な混乱を招き、医療がひっ迫しているともされています。これらには迅速な対応が必須であり、政府からの提言やマスコミからの情報などに執着するよりは、現実味を持っての行動改革が求められています。本学関連病院においてもこれらの問題に執行部の先生方が適確な対応を取られていますが、現場においてはさらなる具体的な実行可能な方針が必要であります。残念ながらこれらに関して議論する場は案外設けられていません。それぞれの診療科で独自の改革案があり、診療領域においては該当学会などで活発に議論されていますが、横断的アプローチにより良案が見いだされ効果が得られることもあります。交互に情報提供し議論することで、次のステップアップが大きなものになることを願って本テーマを企画しました。パネラーの診療科は、時

間外診療、新型コロナ感染症を含めた緊急対応により、働き方改革に不向きであろう診療科を座長権限で決めさせて頂きました。演者は今後10年以上にわたり、本学関連病院において勤務が期待される医師で、将来を見据えた発想ができる医師を各診療科部長に人選して頂きました。パネラーのプレゼンテーションが終了したのちにディスカッションを行いました。大学執行部代表として渡邊善則医学部長、病院代表として瓜田純久院長に参加していただき、最後にご発言を頂きました。これらの議論は、東邦大学関連病院への大きなメッセージになると考えます。各パネラーの抄録に目を通していただき、本学関係者に多くの関心を抱いていただけることを心から願っております。

DOI: 10.14994/tohoigaku.2021-003